



しののめYMCAこども園 園だより

2021年度10月号
発行者こども園園長 堀江和広

聖句 「互いに愛し合いなさい」

わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。
これがわたしの掟である。

10月聖句 あなたがたの名が点に書き記されていることを喜びなさい。

ルカによる福音書 10章 20節

こども園では開園当初より「年長山中湖キャンプ」を実施してきました。最初の年は、年長児が3名だったので、私を含む4名の教員と合わせて7名でした。東京駅から高速バスに乗り山中湖へ向かい、現地では園児達と自然の中で、やりたい事や挑戦したい事を、話し合いながら3日間を過ごしました。カレー作り、キャンプファイヤーも少人数でしたが楽しく行い、2日目のカヌーでは、昼食のホットドックや飲み物をカヌーに積み込み、カヌートリップに出かけ、遠く離れた湖畔に上陸し、ホットドックを食べ、湖で遊び楽しい時間を過ごした事を思い出します。当時の子どもたちも高校入学を迎える年齢になりました。

自然の中で過ごす「キャンプ」は、私達に様々な事を教え、気づかせてくれます。自然の中で過ごす事は非日常的であり、今の生活環境に慣れ親しんでいる私達にとっては、不便さを感じます。

その不便さを理解した上で、工夫や創造をしながら楽しむ事が必要になります。またそこには生活を共にする仲間の存在が有り、共に過ごす事で協力や連携、仲間意識が生まれ育ってきます。

キャンプはこれから生きていく社会の縮図で、一人ひとりが社会や他者とどのように関わっていくのか、実践し体験する機会になります。YMCAは「キャンプ」を通じて、その事に価値を見出し実践してきました。こども園の「山中湖キャンプ」も同様で、仲間と過ごす生活を通じて、互いに影響し合いながら、成長する事を願い今日まで実施してきました。

緊急事態宣言が延長され、一度は中止と判断致しましたが、年長保護者の皆様方のご意見や想いを受け止めながら、再々順延させて頂きました事を心より感謝申し上げます。然しながらその一方で、不安や諸事情により、参加が難しい園児がいる事もおぼえます。一人ひとりの想いを受け止めながら万全を期して臨みたいと思っております。再々順延に伴い、多くの方々にご理解ご協力を賜りました事を改めて心より感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

園長 堀江和広